

平成 21 年度岡山大学大学院社会文化科学研究科博士前期課程【2月募集】入学試験問題

講 座	経済理論・統計、比較経済、政策科学、 経営学、会計学、組織経済学、 地域公共政策コース
専門科目	ミクロ経済学

以下の問 1 と問 2 の両方に解答しなさい。なお、問題ごとに別々の解答用紙を用いること。

問 1

ある農産物価格 p について、需要関数が $q_D = -p + 20$ 、供給関数が $q_S = p$ であるとする。いま、政府はこの財を均衡価格よりも高い生産者価格 12 に設定して生産者から財を購入し、消費者価格をそれよりも安い 8 に設定して消費者に販売する。このとき政府の赤字が発生するが、それは補助金によってまかなわれるものとする。

- (1) 市場均衡価格における消費者余剰を求めよ。
- (2) 赤字補填の補助金額はいくらか。グラフを用いて説明せよ。
- (3) この補助金の交付による経済厚生への損失はいくらになるか。

問 2

同じ財を生産している 2 つの企業 A と企業 B の費用関数を

$$C_A = 0.1q_A^2 + 5q_A - 0.11q_B^2$$

$$C_B = 0.2q_B^2 + 7q_B + 0.025q_A^2$$

と仮定する。ただし、財の価格を 15 とする。 q_A は企業 A の生産量で、その費用を C_A 、 q_B は企業 B の生産量で、その費用を C_B とする。

- (1) 外部経済を享受する企業と外部不経済が発生する企業はどちらか。
- (2) それぞれの企業にとっての限界費用関数を求めよ。
- (3) 個々の企業にとっての私的最適解を求めよ。
- (4) 社会的限界便益と社会的限界費用関数を導出せよ。
- (5) 上記に基づいてパレート解（社会的最適解）を求めよ。

以上